

# 学校評価表

本校の目指す教育	国家社会の進展に寄与できる実践力に富んだ有徳な人物の育成を目指して、おおらかな徳操、高い知性、健全なる身体、勤労の精神、実行の勇気を涵養し鍛錬する。
本年度の重点目標	1 充実した授業を通して、確かな学力の伸長を図る。 2 生徒の特性を生かす指導に努め、進路実現に意欲的に取り組む意欲を育てる。 3 基本的な生活習慣を身につけた礼儀正しさ、自主的な生活態度を育てる。 4 生徒会活動や部活動を奨励し、他者との協働を積極的に推進する。

自己評価							学校関係者評価	
番号	評価項目	年度当初の状況			年度末の最終評価（3月）		実施日：令和元年6月19日	
		現状・課題	具体的な方策	評価指標	経過・達成状況等	達成度		今後の課題と改善策
1	授	授業力の向上を推進し、授業の質を高めることで、教科指導の充実を図る。	授業アンケートを実施し、生徒の声に耳を傾けることで授業改善を図る一助とする。  授業互見期間を設け、他の教師の授業スキルを学ぶ。	授業アンケートの結果や、その結果に対する自己評価。  授業見学シートの提出状況。	授業アンケートの満足度の平均が5段階で4.12、また70%近い教員が4.0を超えるなど教員個々のレベルアップが図られた。	B	旧来型の授業から脱却し、アクティブラーニングも含めた新たな授業形態を習得し、より授業の質を高めていく。	・深谷市内の中学生の本校受験率が22.5%から33.2%に増加しているが、この学校の良さを生徒も保護者も感じているからこそではないか。 ・面倒見がよい学校だと思う。受験などに特化せず、挨拶など生活面の指導を広くおこなっているのがよい。 ・進学実績やスポーツの結果だけでなく魅力的な人作りをしているように思う。ぜひ今のやり方を変えずにがんばってほしい。 ・学校見学会や説明会等受け皿が多いのは中学校側としてはありがたい。 ・勉強も運動も当たり前のこととして取り組んでいるように感じる。そういうことが先輩たちからロコミで伝わっているのではないか。 ・学習時間を増やすことは大事だと思うが、中身が伴っていないとあまり意味がないので、そちらの指導も丁寧に行ってもらえるとありがたい。 ・何事も継続して努力することが大事。高校受験で培った経験を高校でも実践できるように助力してほしい。 ・進路指導において、いきいたい学校と自分の現実の差をいかに埋めるかが重要である。そのためにも授業や自主学習をしっかりとやってほしい。 ・第一志望届は2年の3学期ではなくもっと早くきめてもいいのではないか。早く決めることでその学校の情報などがより耳に入りやすくなると思う。 ・サッカー部は部員数が150名を超える状況になってきているが、それでもレギュラーだけでなく全員の面倒をみている。3年間続けさせる努力を今後とも続けてほしい。 ・グラウンドの人工芝化によって、駐車スペースが足りなくなっている。駐車場を確保し、保護者が学校に足を運びやすいようにしてほしい。 ・この学校に入学して良い方向に変わった例をいくつも聞いている。親は感謝していると思う。
		業	チャイム・トゥ・チャイムの徹底をはじめ、落ち着いた環境の中で授業が受けられるように、授業規律の確立に取り組んでいる。	チャイム・トゥ・チャイムの徹底を全教員で取り組むことを通して、授業規律の確立をめざす契機とする。	授業アンケートの結果や保護者アンケート等の結果。	生徒・教員ともにチャイムと同時に授業を始めようという意識は浸透しつつあるが、授業規律についてはまだ改善の余地がある。	B	
	業	家庭学習習慣を確立させ、自ら学ぶ姿勢を育てる。	進学コースでは朝学習の継続や、週末課題などを課すなど、机に向かう習慣をつけさせる。  進学選抜・特進S・中高一貫の3コースでは手帳やe-ポートフォリオを利用して学習時間等を記録させる。	朝学習や週末課題を継続して行えたか、また提出状況を高い水準で保てたか。  自己の学習状況を振り返らせる契機となり、学習状況の改善につながられたか。	進学コースについては特にコース・学年が丸丸となって取り組むことができた。  各コースとも多くの生徒が楽しみながら手帳を活用していた。	B	自主的に学習する習慣が完全に身につけているとはまだ言えない状況も少々散見されるので、今後も様々な方法で生徒に働き掛けていく。	
	進	大学入試改革に即した進路指導に切り替えていく。	コースごとに模試分析会を実施し、生徒の実態を一人ひとり具体的に把握する。	分析会を実施したか。またそこで得た情報を一人ひとりの生徒に還元したか。	模試分析会を実施して生徒の実態把握に努め、またそこで得た情報を面談等で活用した。	B	分析会を恒常的にを行い、生徒の実態把握と、それをもとにした指導計画を作成する。	
2	路	自己の現状に甘んじるのではなく、学力と進路意識の向上を図ることで、より高みをめざす意欲を涵養する。	2年生の3学期に第一志望届を提出させ、早い段階で、自己の進路についての関心を深められたか。	第一志望届提出にあたり、進路先調べ等がきちんとできたか。またその実現に向け、学習への積極的な取り組みなど、個々の生徒が努力できたか。	進路指導部や担任の働き掛けにより、一人ひとりの生徒が自己の進路について研究・検討して、第一志望届をほとんどの生徒が提出することができた。	A	第一志望届提出のための情報収集と、第一志望合格を実現させるため、学力向上に向けた一層の努力を促していく。	
		英語教育を中心に各教科の目標を再検討し、大学入試改革に備える。	大学入試改革に関する講習会等に参加して情報を把握する。	講習会への参加状況や、各教科の取り組み状況。	講習会には全教科が参加し、教科会でそこで得た知識の共有化を図った。	B	講習会等で得た知識をいかにして教科指導と進路指導に還元していくか。	
	導	進路実績の一層の向上をめざし、生徒や保護者の期待に応えられる体制をつくる。	進学センターを立ち上げ、これまで実施してきた放課後講習や長期休業中の講習を見直し、全コースの生徒を対象に、学習指導・進学指導を充実させる。	31年度に本格稼働させられるよう、体制作りを進めることができたか。	講習を行う教師の顔ぶれがそろい、おおよその体制はできあがりつつある。	B	進学センターを運営していく中で、一層充実させていく方策を順次実践していく。また講座を申し込んだ生徒を満足させられるよう講習内容と指導を向上させていく。	
3	生	ほとんどの生徒は、きちんとした服装や髪型で学校生活を送ることができている。校外でも自覚をするよう指導を重ねていく必要がある。	全校一斉の髪型服装確認を継続する。また一人一人に声をかけ、挨拶を交わしながら、整容指導を徹底するとともに、温かい学校の雰囲気醸成を図る。	校外において、生徒がきちんとした制服や髪型で生活できたか。	髪型については目立った違反は少ないが、制服の正しい着用については改善の余地がある。	B	髪型や服装については、校外でもきちんとできるよう、引き続き全校での指導を継続する。また貴重品ロッカーを十分に機能させる。	
		スマホ・ケータイの学校への持ち込みは許可制で対応し、その使用方法についても指導している。不用意な書き込み等で、トラブルが起きないように指導を継続させる必要がある。	いじめ防止法の施行を踏まえ、警察や業者などから外部講師を招き、講演会や講習会を実施し、好ましいスマホ・ケータイの使用法の徹底を図る。	好ましいスマホ・ケータイの使用法を習得し、生徒が安心して気持ちよい毎日を送ることができたか。	4月に中・高共にスマホ・ケータイの使用法について指導した他、集会やHRでも継続的に指導したが、まだまだ気が抜けない。	B	殆どの生徒がスマホ・ケータイを持つようになった昨今、SNSの使用法・マナーについては、今後とも継続的に指導していく必要がある。	
	他者の良さを積極的に評価できる生徒を育成する。	「建学の精神」に基づき、生徒の良い行いについて積極的に評価する。	生徒の善行やよくできている生活態度について取り上げ、評価することができたか。	集会やホームルーム等を通して評価できた。	A	努力を評価したり、ほめることの必要性についての認識をさらに深めていく。		
	主体的に他者と協働する活動を通してコミュニケーション力を高めようとする。	文化祭や体育祭等の学校行事や生徒会活動、部活動に積極的に取り組ませる。	生徒や保護者へのアンケートや、文化祭等の来場者数、部活動の参加状況。	文化祭の来場者数が過去最多を記録するなど、生徒会を中心に積極的に活動した。またサッカー部が2大会で県優勝を果たした。	A	活動実績をより高めていくとともに、部活動への積極的な参加状況を促していく。		

達成度 A：達成（100%）、B：概ね達成（75%）、C：達成途中（50%）、D：取り組みを開始（25%）、E：取り組めず（0%）